【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年12月21日
【会社名】	株式会社ダイフク
【英訳名】	DAIFUKU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　下　代　　博
【本店の所在の場所】	大阪市西淀川区御幣島３丁目２番11号
【電話番号】	大阪(06)6472-1261(大代表)
【事務連絡者氏名】	財経本部長　齊　藤　　司
【最寄りの連絡場所】	東京都港区海岸１丁目２番３号(汐留芝離宮ビルディング)
【電話番号】	東京(03)6721-3501(代表)
【事務連絡者氏名】	コーポレートコミュニケーション本部長　大　岩　明　彦
【縦覧に供する場所】	株式会社ダイフク　東京本社 (東京都港区海岸１丁目２番３号（汐留芝離宮ビルディング)) 株式会社ダイフク　名古屋支店 (愛知県小牧市小牧原４丁目103番地) 株式会社ダイフク　藤沢支店 (神奈川県藤沢市菖蒲沢28) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号

1 【提出理由】

財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2 【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成30年12月３日

(2) 当該事象の内容

当社の米国における連結子会社であるJervis B. Webb Company（当社の北米事業統括会社であるDaifuku North America Holding Companyの100%子会社。以下「Webb社」）の確定給付年金制度の年金資産不足については、米国の経済動向によりWebb社のみならずダイフクグループ全体にも会計上・財務上大きな影響を与えてきましたが、昨今の安定した米国の経済状況・堅調な株式市場・金利動向を背景として年金資産不足額が減少し、財政状況が改善してきたことを契機に、本件確定給付年金制度の一部バイアウト（注）を行い、将来の年金の運用リスク・財政悪化リスク等、会計・財務上の不確実性を大幅に削減することといたしました。

（注）年金バイアウトは確定給付年金制度の全部又は一部を、保険会社等に保険料の支払いと引き換えに移転することで、以後の年金運営を保険会社等に行って頂く仕組みです。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

本件確定給付年金制度の一部バイアウトに伴い、平成31年３月期の連結財務諸表において約73億円の退職給付費用を特別損失として計上する為、親会社株主に帰属する当期純利益は約51億円減少する見込みであります。